

漁港漁場における海洋深層水有効活用の研究会

業務名	水産深層水協議会（13-980）
委託者	自主研究
担当者	（笠原宏紹）、宇賀神義宣

1. はじめに

水産における海洋深層水の利用については、低温性、清浄性、富栄養性等の海洋深層水が有する特性の有効性により、現在、水産分野を含む様々な分野において、研究開発、実利用が進められている。特に、最近では、海洋深層水の取水施設の稼働に伴い、食品、飲用水、化粧品等の分野で様々な商品が開発され、市場に多く出回るようになってきた。その反面、便乗的な用途の出現などを懸念する声も出てきている。

今後、深層水の機能解明や利用技術の開発及び海洋深層水供給施設の整備が進み、本格的な深層水の利用が始まると、水産分野においても、他分野と同様に、有効性、ブランドイメージを活用した水産物の付加価値向上等に向かった取り組みが盛んになると見込まれるが、その定義や出自等が曖昧であった場合には、食品、飲用水と同様の問題が生じる恐れがある。このため、海洋深層水に関する情報の蓄積・一元化、定義の明確化、取水施設の認定、利活用に関する研究会の開催、適切な利用の在り方の検討等の取り組みを進め、水産分野における「海洋深層水」の適正かつ秩序ある利用の促進を図る。

2. 今後の対応

(1) 組織化

水産分野における海洋深層水の適正かつ秩序ある利活用を推進するため、海洋深層水に関する調査研究、情報の一元的な把握及び事業に関する検討及び関係者相互の情報交換を図る「水産海洋深層水協議会」を設置する。

また、この水産深層水協議会に、専門的な事項について検討を行う「調査研究委員会」及び「事業部会」を設ける。

(2) 具体的な対応

ア．調査研究の推進（担当：調査研究委員会）

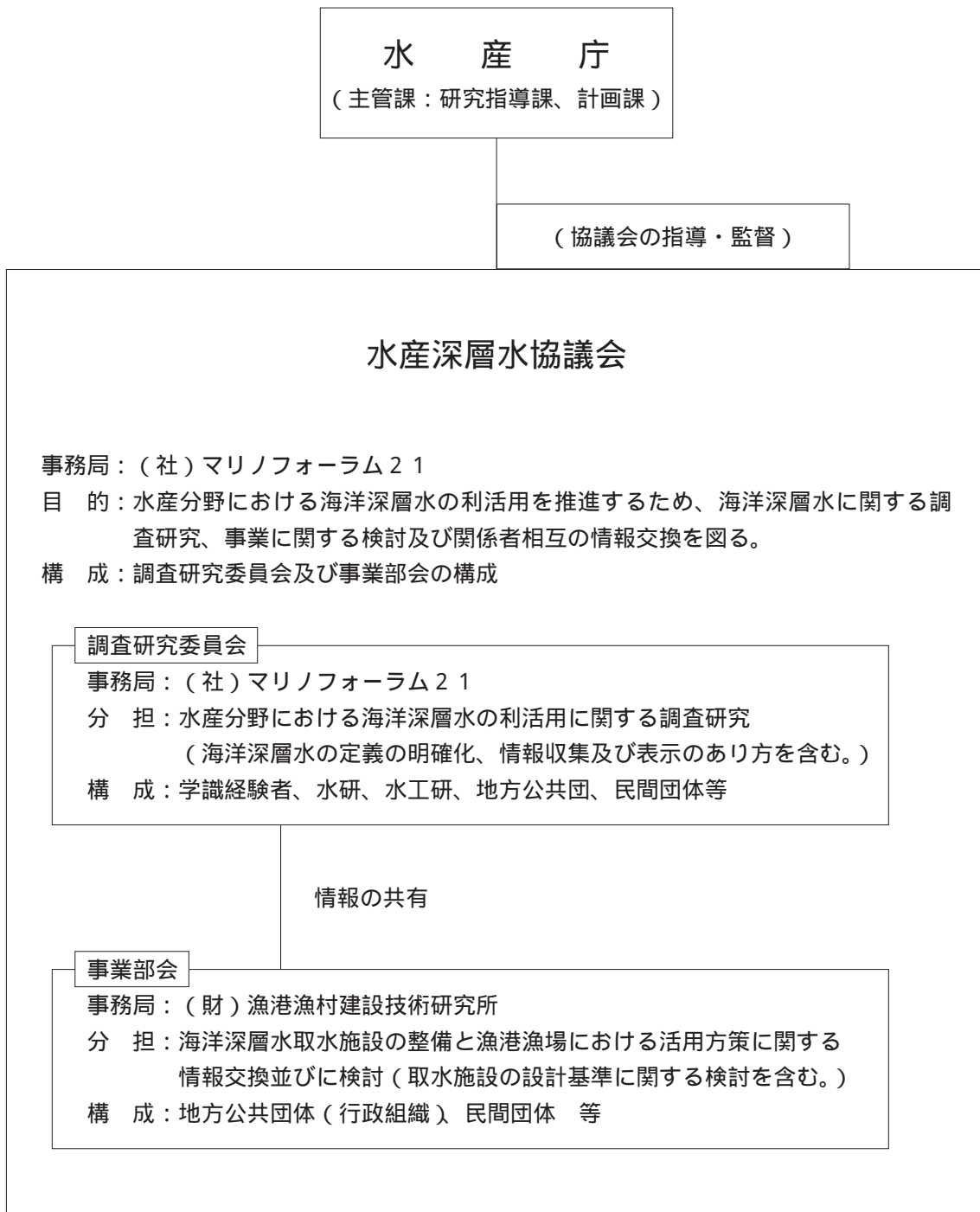
水産分野における海洋深層水の有用性、機能性等に関する知見を整理し、今後の多目的な利用を図るため、先進的な利活用に関する調査研究を行う。

また、様々な形態の取水・利用が進んでいる実態を踏まえた適正利用を図る観点から、海洋深層水の定義の明確化（施設認定等の基準づくり等に活用）、情報収集の一元化を図り、表示のあり方等についても検討を行う。

イ．取水供給施設事業の推進（担当：事業部会）

海洋深層水取水供給施設の整備と漁港漁場における活用方策に関する情報交換及び検討を行う。水産分野における海洋深層水適正利用の検討体制を表 - 1 に示す。

表 - 1 水産分野における海洋深層水適正利用の検討体制



3. 海洋深層水協議会の開催内容

3-1 第1回協議会

- (1) 開催日時 : 平成12年11月14日(火) 14時~16時30分
- (2) 会場 : (財)漁港漁村建設技術研究所 6階会議室
- (3) プログラム :
 - 1) 開会挨拶
水産庁漁港部計画課 長野章 課長
 - 2) 研究会の趣旨説明
水産庁漁港部計画課 田中郁己 課長補佐
 - 3) 基調講演: 漁港漁場における海洋深層水利用の方向と課題
東京大学 高橋正征 教授
 - 4) 水産庁の事業制度
水産庁漁港部計画課 杵町浩 環境整備係長
 - 5) 閉会挨拶
(財)漁港漁村建設技術研究所 古川有恒 専務理事



図 - 1 海洋深層水取水施設イメージ図A

3-2 第2回協議会

- (1) 開催日時 : 平成13年1月15日(月) 14時~16時30分
- (2) 会場 : (財)漁港漁村建設技術研究所 6階会議室
- (3) プログラム :
 - 1) 開会挨拶
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 桑知文 課長
 - 2) 静岡県の深層水事業について
静岡県農林水産部水産振興質 青木一永 主査
 - 3) 水産分野におけるHACCP認定について
(社)大日本水産会 品質管理部 高鳥直樹 調査役
 - 4) 組合自営加工場における衛生管理について
東町漁業協同組合 加工課 島田圭三 課長補佐
 - 5) 水産物の衛生管理
東京水産大学 藤井建夫 教授
 - 6) 閉会挨拶
東京大学 高橋正征 教授



図 - 2 海洋深層水関連商品（参考）

3-3 第3回協議会

- (1) 開催日時 : 平成13年3月28日(木) 14時～16時30分
- (2) 会場 : (財)漁港漁村建設技術研究所 6階会議室
- (3) プログラム :
 - 1) 開会挨拶
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 田中郁也 課長補佐
 - 2) 取水施設整備の費用便益分析と関連する既往研究の紹介
(財)漁港漁村建設技術研究所 中村茂樹
 - 3) 海洋深層水の多段利用
海洋科学技術センタ - 海洋生態・環境研究部 中島敏光 研究主幹
 - 4) 富山県における海洋深層水の多段利用研究
富山県水産試験場 栽培・深層水課 林清志 課長
 - 5) 入善町の海洋深層水事業について
入善町 海洋深層水課 小堀勇 係長
 - 6) 閉会挨拶
(財)漁港漁村建設技術研究所 古川有恒 専務理事



図 - 3 海洋深層水取水施設イメージ図B

3-4 第4回協議会

- (1) 開催日時 : 平成14年3月18日(月) 14時～16時30分
- (2) 会場 : フォーラムミカサ 6階会議室

(3) プログラム：

- 1) 開会挨拶
- 2) 海洋深層水の資源利用の動向と今後の方向性
東京大学 高橋正征 教授
- 3) 海洋深層水に対する羅臼町の取り組み
羅臼町 海洋深層水推進プロジェクト 佐々木 柁博 課長
- 4) 海洋深層水を用いた商品事業の概要 - 皮膚への作用と化粧品分野への応用を中心として
カネボウ株式会社 総合研究所 新井清一 総括マネージャー
- 5) 海洋深層水取水施設の建設
清水建設株式会社エンジニアリング事業本部 清水勝公 副部長
- 6) 閉会挨拶
(財)漁港漁村建設技術研究所



図 - 4 取水管敷設専用台船

3-5 第5回協議会

- (1) 開催日時：平成14年7月2日(火) 14時～16時30分
- (2) 会場：フォーラムミカサ 8階会議室
- (3) プログラム：
 - 1) 開会挨拶
 - 2) 海洋深層水の水産利用 - 海域肥沃化構想について -
瀬戸内海区水産研究所 井関 和夫 部長
 - 3) クルマエビの母エビ養成に関する研究
沖縄県海洋深層水研究所 玉城 英信 主任研究員
 - 4) 海洋深層水関連商品 - 健康志向商品について -
赤穂化成株式会社 営業技術部 能美 茂 部長
 - 5) 三浦沖海洋深層水取水施設について
大成建設株式会社 土木営業本部 片山 一郎 部長
 - 6) 閉会挨拶
(財)漁港漁村建設技術研究所

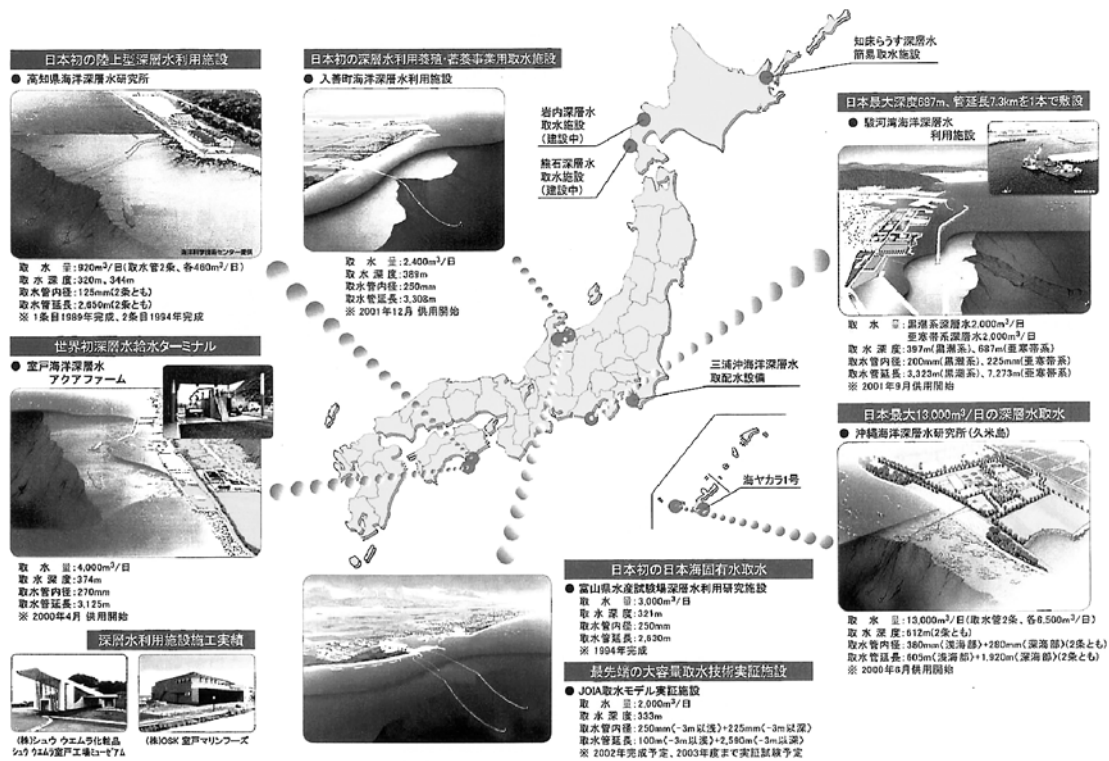


図 - 5 日本の主な海洋深層水取水施設

4. 今後の予定

今後の本協議会でのテーマ選定としては、以下を予定している。

- 自治体の事例紹介 焼津、入善、熊石、岩内
- 水産加工事例紹介 ウニ、氷
- 水産種苗分野紹介 富山、畑野
- 施工事例 東亜、五洋

本協議会では、海洋深層水に関する情報の一元化、定義の明確化、取水施設の認定、利活用に関する研究会の開催、適切な利用の在り方の検討等の取り組みを進め、水産分野における「海洋深層水」の適正かつ秩序ある利用の促進を図るための諸活動を行っていく予定である。